

ANNUAL REPORT

2023年度年次報告書

認定特定非営利活動法人CALL4

2023.6.1 -
2024.5.31



Mission 私たちの目的

より多様で公正な社会を実現する

Vision 私たちがめざすこと

市民に司法をひらき、
公共訴訟に気軽に关われる世の中をつくる

CALL4 は日本で初めての「公共訴訟」に特化したウェブプラットフォームです

不合理なルールや仕組み、不正義を是正するために「公共訴訟」に立ち上がる人々があります。私たちは、そうした人々を支えます。訴訟の背景や意義を伝え、寄付などの方法で、気軽に公共訴訟に关われる方法を提供しています。



団体概要

団体名	認定特定非営利活動法人 CALL4	
所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目20番6号 花岡ビル4階	
事業開始	2018年12月	
NPO 法人設立	2021年4月 認定NPO法人 有効期間：2023年3月28日から2028年3月27日まで (東京都(4生都管第1412号))	

組織構成

代表理事	谷口 太規	理事	東出 紀之
代表理事	丸山 央里絵	理事	松丸 佳穂
副代表理事	井桁 大介	監事	石川 えり
理事	杜多 真衣	監事	土井 香苗



「CALL4」という名称は、「～を呼び起こす」「～を必要とする」という意味の“call for”という言葉に由来しています。立法、行政、司法は三権と呼ばれますが、社会を形作る4つめの力として市民の力があると私たちは考えます。

一人ひとりの共感が重なり合って、大きな市民の力となります。こうした4つ目の力と呼び起こす、という意味で、“for”の代わりに、“4”(four)という数字を使っています。

CALL4

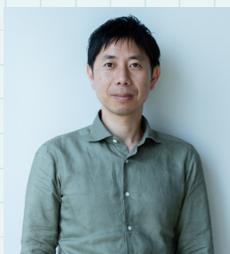
生まれつつある言論フォーラム

2024年7月3日、最高裁大法廷は、強制的な不妊手術等を強いた旧優生保護法について、個人の尊厳等憲法の各規定に反するものであったとして法令違憲判決を出しました。

第二次世界大戦後、憲法に反する法令について司法が審査する制度が採用されました。しかし、国家が人権を侵害しないようにするこの画期的な制度は、ほとんど用いられず、最初の法令違憲判決が出されるまでに30年近い月日を要することになります。その後も、2021年までにわずか10件しか出されることはありませんでした。しかし、2022年の在外邦人国民審査権訴訟、2023年の性同一性障害の方の性別変更要件訴訟、2024年の旧優生保護法訴訟と、ここ3年では毎年出されています。歴史上もっとも活性化していると言えるでしょう。そしてこのいずれもが、CALL4において活動を支援していた公共訴訟に関するものでした。最近、世界で最も著名な憲法に関するブログに投稿された論文では、日本の最高裁の活性化の原因の一つにCALL4の存在があると指摘されていました。

CALL4はクラウドファンディングの機能をサービスの一つとして提供しています。ですから、それによって得られた資金を公共訴訟に有効に活用した結果、画期的な法令違憲判決が後押しされたとも言えるでしょう。しかし、私は、それ以上に大きな変化があるのではないかと感じています。それは数多くの公共訴訟が、私たちのプラットフォームを通じて拡散し、話題になり、多くの人たちが考えたり、議論したりする対象になりはじめているということです。私たちの周りに、一つの公共的な言論フォーラムが生まれつつあるのです。

公共訴訟が取り扱うイシューは、その多くは簡単に結論が出る問題ではありません。歴史や事実認識、価値観、さまざまなファクターが関わってきます。だからこそ、人々が、さまざまな言論をたたかわせてより正しい結論に辿り着こうとする意志を持とうとしなければ解決しません。CALL4を支えてくださる皆さまによって生まれているこの言論フォーラムが、こうした人々の意志をこれからも後押しできるよう、活動を続けます。



共同代表
谷口 太規

声をあげた人をひとりにしない

「北さん、おめでとうー！」「完全勝利！」

今年7月、最高裁で旧優生保護法は違憲であるとして、国に賠償を命じる判決が言い渡されました。東京・永田町にある最高裁前の沿道は、駆けつけた支援者（車椅子の方や白い杖をついた方も）で埋め尽くされ、警備員が指示を出して道を開けても通行人1人通るのもやっとのすし詰め状態。以前にCALL4ストーリーで取材をさせていただいた北三郎さんが、祝福の握手やハイタッチを受けながら、人々の間を縫うように沿道を進み、その先で代理人の関哉弁護士が振り返って、北さんを笑顔で見守っていた場面には思わず込み上げるものがありました。

やがて当事者と弁護団がひとところに集まり、「勝訴」「優生思想を打ち破る」「司法府、その役割を果たす」などそれぞれの筆致で書かれた旗を報道陣の前に一斉に掲げました。無数のシャッター音と拍手。北さんの手にあったのは、「今までありがとうございます」という、周囲への気遣いある北さんらしい旗でした。

14歳のときに一方的に強制不妊手術を受けさせられた北さん。それは、「あなたは不良な人間で、子どもを産んではいけない存在なのだ」と、国から言われたことを意味しました。手術時だけでなく、北さんは60年以上、その人生を通じて被害を受け続けてきました。ひとりでも多くの人に名乗りをあげてほしいという思いから、顔を表に出して訴訟活動をしてきた北さんらと、その向こうにいる被害者約2万5千人の切なる思いが、司法を動かした瞬間でした。

「ずっとこの事件を忘れないでほしいです。」関哉弁護士は取材時にそう話していました。優生思想をそれぞれに考えて、次の世代に伝えていく役割を担ってほしいんです、と。

CALL4に掲載されている70件を超える公共訴訟、一つ一つの訴えに耳を澄ませば、同じ社会をともに生き、問題に直面する人びとの声が聞こえてきます。その声を私たちは社会全体の問題として受け止め、考えていかなくてはならない。社会を少しでも良くするためにも、声をあげた人をひとりにしないためにも。勇気を持って声をあげた人を、熱意で支える弁護団を、CALL4は支え続けます。



共同代表
丸山 央里絵

今年度のCALL4の活動振り返り

2023年度は、認定NPO法人としての初めての1年間でしたが、多くの方々に新たにマンスリーサポーターのご登録をいただき、多方面でCALL4の活動を広げることができました。全国各地からCALL4への訴訟の掲載希望のお問い合わせをたくさんいただき、12件の新たなケースを掲載し、全国20カ所で行われる66件の訴訟を扱いました。掲載ケースへの寄付件数も寄付額も昨年度に比べて増加しています。

そして、今年度はより多くの方々に公共訴訟に触れていただけるよう、4周年記念イベントの際に初めて東京を出て、名古屋と京都でもイベントを開催しました。これまで直接お会いできていなかった方々や掲載ケースの関係者の方々と直接交流をすることができ、公共訴訟に関わる人びとのコミュニティの広がりを感じることができた1年でした。

※CALL4の事業年度は6月始まり、5月末日締めです。

総取扱いケース数 **66件** (※1)

2023年度新規ケース数 **12件**

取扱いケースの地域

全国 **20カ所** (※2)

札幌地方裁判所 2件	大阪高等裁判所 1件
最高裁判所 6件	大阪地方裁判所 1件
東京高等裁判所 12件	神戸地方裁判所 1件
東京地方裁判所 21件	松山地方裁判所 1件
裁判官弾劾裁判所 1件	山口地方裁判所 1件
千葉地方裁判所 1件	福岡高等裁判所 2件
横浜地方裁判所 1件	福岡地方裁判所 1件
静岡地方裁判所 1件	大分地方裁判所 1件
名古屋高等裁判所 3件	長崎地方裁判所 1件
名古屋地方裁判所 1件	那覇地方裁判所 1件

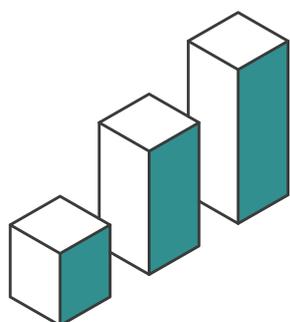
これまでにCALL4で扱っている 이슈ー

外国にルーツを持つ人々／ジェンダー・セクシュアリティ／医療・福祉・障がい／働き方／刑事司法
公正な手続／情報公開／政治参加・表現の自由／環境・災害／沖縄／個人情報・プライバシー

※1 アーカイブされたケースを含みます

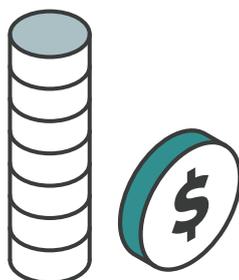
※2 2023年度中に掲載ケースが係属していた裁判所のうち上級裁判所をカウントしています（すでに結審していたケースは除く）

みなさまからのご支援で
日本各地で声をあげる人を支えることができます



2023 年度
掲載ケースへの寄付件数

2,376 件



2023 年度
掲載ケースへの寄付合計額

25,929,801 円



マンスリーサポーター人数

211 人

事業開始からこれまでの
掲載ケースへの総寄付件数

12,956 件

2023 年度
CALL4 への寄付額

31,004,104 円

累計コンテンツ発信数



ストーリー

41 件



コラム

70 件



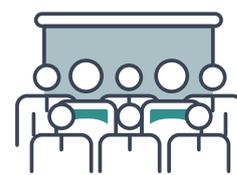
Podcast

41 件



動画コンテンツ

31 件



イベント・
トークライブ

25 件

※2024年5月31日時点のデータです

CALL4はおもに3つの支援を行なっています

CALL4は、これらの支援について、ケースの当事者の方々から一切お金をいただいております。クラウドファンディングの手数料も完全に無料で行っております。CALL4へいただいたご寄付や企業からの支援金によって活動しております。

01. クラウドファンディング運営

<経済支援>

CALL4に掲載しているケースには、それぞれ数名のケースサポーターが、クラウドファンディングの立上げと持続の伴走支援をしています。当事者の方々とCALL4メンバーがケースページの内容を一言一句考慮を重ねてケースを公開しています。



結婚の自由をすべての人に訴訟（同性婚訴訟）

65%
¥6,595,100円 905人



立候補年齢引き下げ訴訟
Litigation for Lowering the Age of Candidacy

23%
¥2,366,500円 254人



人種差別的な職務質問をやめさせよう！訴訟！
#STOPレイシャルプロファイリング

85%
¥2,559,500円 244人

02. メディア・イベント運営

<社会的認知向上・共感醸成>

一つひとつのケースにはさまざまな当事者の方の思いや背景があります。プロフェッショナルなライターや写真家と当事者の方々の元へ伺い、取材をし、ストーリーやコラム、動画の配信をしています。より多くの方々にケースについて知っていただくために、イベントの開催やSNS等の配信もしています。



03. 訴訟資料の公開・データベース化

<実務支援>

CALL4はより司法をひらかれたものにするため、各ケースで訴訟資料を公開しています。また、公開した資料を整理してデータベース化し、専門知識の提供することにより、公共訴訟に関するオープンな議論を促し、類似訴訟に携わる弁護団を支援しています。

上告状業上告受理申立書	
最高裁判所 第中	2023年10月18日
上告人兼中告人訴訟代理人	弁護士 平 裕
同	弁護士 山口 小 幸
同	弁護士 井 野 大 介
同	弁護士 鳥 石 倫 子
同	弁護士 三 宅 千 晶
同	弁護士 福 田 健 祐
当事者の表示	別紙当事者目録記載のとおり
納付金	納付金 449万6000円 印刷費 5万6000円

地域	高裁	最高裁	その他
<input checked="" type="radio"/> 主文・判決 <input checked="" type="radio"/> 証拠 <input type="radio"/> その他			
本人側			
訴状 証拠説明書(1) (甲1-27) 平井護士意見陳述 原告代表者意見陳述 第1準備書面 証拠説明書(2) (甲28-30) 第3準備書面 証拠説明書(3) (甲31) 第4準備書面 第5準備書面 証拠説明書(4) (甲32-34) 証拠説明書(5) (甲35-47) 訂正申立書 (証拠説明書(5)について)			

CALL4Podcast で公開収録に初挑戦！

“法律に詳しくない人でも気軽に聞いて、楽しく公共訴訟を学べる”をモットーに運営している「CALL4Podcast」では、CALL4 掲載ケースについて、弁護士や原告の方にわかりやすく解説していただく番組を多く配信しています。MC は、CALL4 のメンバーが交代で担当しています。

2024年4月には初めて、リスナーの方をCALL4 オフィスにお招きしてのPodcast 公開収録を行いました。記念すべき第1回目の公開収録は、日本の「黙秘権」を問う訴訟。原告と弁護団の皆さんにお越しいただき、リスナーの方にMC とのやりとりを直接聞いていただきました。収録後には、参加者の方から質問や感想を伝える時間を設け、双方向でのやり取りを行なったことで、訴訟に対する理解が深まりました。少人数ならではのアットホームな空間が好評でした。

この時の収録内容はすでに配信済みですので、ApplePodcast または Spotify からぜひ気軽に聴いてみてください。



CALL4
PODCAST
公開収録
VOL.1

日本の「黙秘権」を問う訴訟
—56時間にわたる侮辱的な取調べは違法—

いま、知りたい
公共訴訟トーク

SPEAKERS

原告 江口大和さん
宮村啓太 弁護士
趙誠峰 弁護士
高野傑 弁護士

4/23 TUE.
18:30-19:30

事前申込制 / 先着15名限定
日本橋浜町

参加者募集!!

CALL4 ウェビナー in English 開催！

「同性 × 国際カップル 家族そろって日本で暮らすために」

CALL4 の支援ケースには、日本語を母語としない方が当事者・支援者であるケースも数多くあります。そこで日本語以外をメインの言語とする人たちにも公共訴訟の内容や意義をお伝えし、支援の輪を広げるべく、2024年3月に英語のイベントを初開催しました。

登壇者は、「日米同性カップル在留資格訴訟」の原告である Andrewさんと康平さん、スウェーデンで同性パートナーと暮らす YouTuber のみつつんさん、支援者のまきさん、担当の鈴木弁護士です。複雑でわかりづらい法律や訴訟の内容を、図表などを用いて当事者の声とともに解説し、参加者から多くの共感の声が寄せられました。イベント録画には日英の字幕をつけて YouTube で公開しています。

イベント中、まきさんが、「You are not alone.」（あなたはひとりじゃない。）という言葉会場に投げかけてくださいましたが、これは孤独に悩み苦しむ方が多いからこそその言葉であると感じました。一人でも多くの方が CALL4 とつながり共に歩んでいけるよう、引き続き言語の壁を超える活動も充実させていきます。

Webinar in English:

Fighting for a Future
where Same-Sex
International Couples
can Live Together
in Japan

2024
March 17th
16:00-17:00 sun.

Registration Needed

Free to Attend

CALL4

・申込みが必要。
・参加にお金はかかりません。

4周年記念イベント、全国3都市で開催！

CALL4の今年の周年イベントは、『アニバーサリー・キャラバン』と題し、東京・名古屋・京都の3都市それぞれで内容の異なるイベントを開催しました。



【東京】

社会を変える公共訴訟

～声をあげる、みんなで支える～



ジャズトリオによる軽快な生演奏がオープニングを飾った東京イベント！ 第1部は、MCにフォトジャーナリストの安田菜津紀さんを迎え、社会問題に対して声をあげた今井絵里菜さん（神戸石炭訴訟・元原告）、中村涼香さん（立候補年齢引き下げ訴訟・原告）、ロッシェル・カップさん（神宮外苑訴訟・原告）の3人をお招きし「私たちが法廷に立つ理由」をテーマにパネルディスカッションを行いました。声を上げた人びとの想いが肌身に感じられる時間でした。エスニックフードとドリンクで休憩の後は、第2部トークライブ「公共訴訟を支える意義とは？」がスタート。ジャーナリストの荻上チキさんと浜田敬子さん、MCのCALL4代表・谷口太規が、公共訴訟に市民の持つ力を結集することで社会を変えていける可能性について語り合いました。夏の名残の酷暑となってしまった下北沢アレイホールでしたが（空調の不具合申し訳ありませんでした）、うちわを扇ぎながらも多くの方が熱心に聴き入ってくださっていたのが印象的でした。



【名古屋】

公共訴訟で声をあげるということ

～それぞれのストーリー～



CALL4初の東海地方での開催となった本イベントでは、東海地方で提訴されたCALL4掲載の公共訴訟6件の当事者のお話を聞き、軽食を片手に交流できる場をご用意、多くのつながりが生まれた場となりました。あるケースの原告の方は、裁判の原告となって声をあげることは孤独でとてもタフなことだが、このイベントを通じて、他のケースの原告の方々も同じように声をあげられていることがわかり勇気づけられたと述べておられました。また、ある来場者の方は、これまであまり知らなかったケースのことも知る機会となって良かったと述べられており、公共訴訟への関心の輪が広がりました。イベント開催後、「オペなしで！戸籍上も「俺」になりたい裁判」「結婚の自由をすべての人に訴訟」「同性パートナーにも犯罪被害の遺族給付金を訴訟」については、それぞれ中心的争点について違憲または違法の判断がされました（また2024年9月には「市民の『もの言う』自由を守るための訴訟」についても名古屋高裁で違法判断が出ました）。一つのイベントに参加したほとんどのケースについて歴史的な判断が得られるという、画期的なイベントになりました。



【京都】

みんなの共感で、声なき声を社会へ

～公共訴訟を知ろう～



初の関西イベントとして、主に関西在住のCALL4メンバーが企画しました。まず最初のプログラムは、「公共訴訟って何？」と題し、京都大学の曾我部真裕教授（憲法学者）、亀石倫子弁護士、CALL4代表の谷口太規の3人がパネルディスカッションを行い、これまでのCALL4の歩みや公共訴訟の意義を振り返りました。会場にお越しの関西で訴訟を行っている弁護士の方々にも担当ケースの争点や進捗を紹介いただきました。イベント中盤には、メンバーが考案したCALL4掲載ケースに関わる憲法の条文の数字を使った「CALL4ビンゴ」が登場、解説も交え、多くのビンゴの花が咲きました。また後半には、「私も届ける声なき声」と題したワークショップを行い、参加者の皆さまとCALL4メンバーとで、公共訴訟のあり方や公共訴訟で解決したいこと等について意見交換をし、未来に希望を膨らませる時間を過ごしました。茶話会では和気あいあいと参加者全員が交流することもでき、さまざまな社会課題について知っていただく良い機会となりました。



【CALL4 支援者向け event】CALL4 年次活動報告会

2023 年 12 月 1 日に、マンスリーサポーターの皆さまと日頃お世話になっている関係者の方向けに、CALL4 オフィス&オンラインにて年次活動報告会を初開催しました。

報告会では、2023 年の公共訴訟を振り返りつつ、2022 年度の活動内容や会計の報告、次年度の展望をお伝えしました。また、掲載ケースのうち、最高裁で違憲判決を得た『『宮本から君へ』助成金不交付決定取消訴訟』代理人の平裕介弁護士と、家事審判で性別変更が認められた「オペなしで！戸籍上も”俺”になりたい裁判」原告の鈴木げんさんにゲストスピーカーとしてお話いただきました。夜間の開催でしたので、報告会後は軽食と共に CALL4 メンバーと皆さまとで親睦を深めることができました。

来年度もサポーターの皆さまと交流しながら意見交換をできる機会を設けたいと思っております。ご参加いただいたみなさま、誠にありがとうございました。



裁判傍聴ツアーを3回開催しました

CALL4 では公共訴訟への関心を呼び起こし、そして原告や弁護団などの訴訟の当事者が訴えていることやその想いを知って共感を強めていただく機会として、「はじめての裁判傍聴ツアー」を実施しています。2023 年度は、「ジャーナリストに渡航の自由を！訴訟」「立候補年齢引き下げ訴訟」「難民帰化訴訟」の3件で実施しました。

「はじめての」という名称のとおり、それまでに裁判を傍聴したことがない方を想定して作成した CALL4 オリジナルの資料をお配りし、傍聴終了後には原告と弁護団による解説を聞き、交流ができる「期日報告会」にご案内しています。関心を寄せてくださる方が傍聴に来てくださること、そして意見交換できることは、原告や弁護団にとっても大きな励ましになっています。



海外への情報発信

2023 年 7 月、オープンソサエティ財団の支援によりネパールの人権団体 Purak Asia がカトマンズで開催した公共訴訟ラボ (Strategic Litigation Lab) のワークショップに CALL4 として参加し、私たちの取り組みを紹介しました。アジア全域の公共訴訟実務家や関連団体の経験共有・ネットワーク形成を目的としたこのワークショップでは、各国共通の課題として、公共訴訟の継続に必要な資金調達が挙げられました。そうした中、CALL4 が構築したメディアコンテンツとクラウドファンディングを融合させた“公共訴訟エコシステム”は、革新的なモデルとして高い評価を受けました。この国際的な意見交換を通じて、CALL4 の活動が国境を越えて価値を提供できる可能性を強く感じました。今後も、国内外への情報発信を積極的に進めていきます。

2023年度受賞／メディア掲載一覧

- ・東京弁護士会「第38回 東京弁護士会人権賞」受賞
- ・認定NPO法人日本ディベート協会「ディベーター・オブ・ザ・イヤー賞」受賞

2024.04.21 NHK『おはよう日本』
クラウドファンディング活用 裁判を通して社会に関心を

2024.05.01 LIBRA 2024 年 5 月号
インタビュー「第38回東京弁護士会人権賞受賞 認定特定非営利活動法人 CALL4」

2023.07.25 87.6FM 渋谷のラジオ『渋谷社会部』
「公共訴訟」というアプローチ



立候補年齢引き下げ訴訟
Lawsuit for Lowering the Age of Candidacy

立候補年齢引き下げ訴訟

公正な手続 # 政治参加・表現の自由

日本が直面する少子高齢社会、中高年が多くを占める政治の場に、若い世代の声はなかなか届きません。戦後変わらない立候補年齢は若者の政治参加を制限し、社会の一員として政治に関わることを難しくしています。長期的な視点を持った10代・20代の声が届く政治は、日本をもっと持続可能で、生きやすい社会にします。若い世代の声が届く社会に向けて、私たちは立候補年齢の引き下げを提案します。



**コロナ感染者
立ち寄り
店名公表は違法!訴訟**

“コロナ感染者立ち寄り店名公表”は違法!訴訟

公正な手続 # 環境・災害 # アーカイブ

2020年7月31日に徳島県知事は記者会見で、当時はまだ数少なかった新型コロナウイルス感染者が20分立ち寄ったラーメン店名を公表。結果、深刻な風評被害が生じました。店長・従業員のコロナ陰性が確認されており、店からはクラスターはもちろん感染者も発生しなかったにもかかわらず、その事実は公表されませんでした。このような一方的な公表は、市民の不安を煽るだけの行政による不合理な飲食店いじめに他なりません。(※)



神宮外苑を守ろう訴訟

~100年の歴史と3000本超の樹木を未来へ~

神宮外苑を守ろう訴訟

100年の歴史と3000本超の樹木を未来へ

公正な手続 # 環境・災害

100年もの間、人々により守られ親しまれてきた神宮外苑が今、破壊の危機に瀕しています。都民のみならず国民全ての貴重な歴史的遺産であり、緑豊かな憩いの場である神宮外苑を現在の状態のまま次世代へ繋いでいきたい。行政の恣意的な手続をただしたい。その思いで周辺住民らが、2023年2月に東京都に再開発認可取り消しを、7月に新宿区に樹木伐採認可取り消しを求める訴訟を提起しました。計画の正当性を司法に問います。



恵庭市「障害者虐待」隠ぺい事件

~元市議への忖度による放置を許さない~

恵庭市「障害者虐待」隠ぺい事件

~元市議への忖度による放置を許さない~

医療・福祉・障がい # 公正な手続

北海道の恵庭市にある牧場で、3人の知的障害のある人たちが長年にかけて劣悪な環境下で、虐待と評価されるような生活を余儀なくされていたことが判明しました。しかし、それを知った恵庭市は、その事実を隠ぺいし、放置しました。その牧場は、元恵庭市議会議員（議長）が経営していた牧場であったことがその対応に影響していると思われます。本訴訟は、障害者虐待を隠ぺい・放置した恵庭市の責任を問う事件です。



—政教分離原則の違反を問う—

**県知事の公務での
護国神社参拝取りやめを
—政教分離原則の違反を問う—**

公正な手続 # 政治参加・表現の自由

国と宗教の関わり合いに一定の限度を設ける「政教分離原則」。この訴訟で問う対象は、山口県知事による山口県護国神社の慰霊大祭への公務参拝です。戦前の軍国主義体制を支えていた護国神社に、公費を用いて参拝を行うことが、政教分離原則に反していると問うことで、個人の信仰が抑圧されたり強制されたりしない社会を実現します。



STOP RACIAL PROFILING

人種差別的な職務質問をやめさせよう!訴訟

人種差別的な職務質問をやめさせよう!訴訟

#STOP レイシャルプロファイリング

外国にルーツを持つ人々

警察が、人種・皮膚の色・民族的出自などを理由に個人を犯罪捜査の対象とするレイシャルプロファイリング。近年、外国にルーツを持つ人たちから、不審事由がないにもかかわらず繰り返し職務質問をされるという被害を訴える声が続きます。私たちは、職務質問のレイシャルプロファイリング的運用が憲法や国際条約等に違反したものであることを訴え、このような運用をなくさせたいと考えています。



夫婦別姓も選べる社会へ！訴訟

ジェンダー・セクシュアリティ

現行法上、カップルが婚姻するには、一方が他方の名字に変更しなければなりません。実際は、結婚する女性の約95%が男性の名字に変更しており、名字の変更を望まない人は、アイデンティティの喪失など様々な不利益を被っています。結婚しようとする、一方が名字を諦めるか、さもなければ結婚自体を諦めるかという過酷な二者択一を迫られるのです。私たちはこの現状に終止符を打ち、夫婦が別姓も選べる社会の実現を目指します。



「わたしの体は母体じゃない」訴訟

ジェンダー・セクシュアリティ # 医療・福祉・障がい

生殖能力に違和感を覚えたり、子どもをもたない生き方を確信をもって選択した原告らにとって、不妊手術は自分が自分らしく生きるために不可欠な手段です。しかし母体保護法は医療目的等以外の不妊手術を原則として禁止し、施術する場合にも子を既に出産していることや配偶者の同意を必要としています。これらの規定が、生殖に関する自己決定権を侵害し、憲法違反であることを訴え、現在のルールを変えたいと考えています。



日本の「黙秘権」を問う訴訟

～56時間にわたる侮辱的な取調べは違法～

刑事司法

犯罪の嫌疑をかけられた原告の江口さんは、黙秘権の行使を宣言したにもかかわらず、約21日間・約56時間にわたって検察官から「ガキ」「お子ちゃま」など、さまざまな暴言、嫌味、侮辱を浴びせられました。これは「取調べ」なのでしょうか。この訴訟は、裁判を通してこのような取調べが違法であることを明らかにすることで、黙秘権が真に保障される社会にするための訴訟です。



「イチョウと住民自治を守ろう」訴訟

公正な手続 # 環境・災害

文教の街、神田で、古くから人々に親しまれてきた街路樹が、住民たちに対する十分な説明もないまま、伐採され始めています。千代田区は、住民との対話を拒絶したまま、強硬に計画を推し進め、反対する住民たちを排除しようとしています。イチョウ並木と、住民自治の原則を守るため、住民たちは伐採が行われないよう毎夜木の見守りを行いながら、司法にも救済を求めています。



「共働き妻を亡くした夫にも遺族年金を」訴訟

ジェンダー・セクシュアリティ # 働き方

「夫は仕事、妻は家事」という考え方を60年近く維持する法律があります。労災補償の遺族年金は、妻は年齢制限がないのに、夫は55歳以上でなければ支給されません。「男性が稼ぎ主」と決めつけて、男性と女性に差をつけることが許されるのでしょうか。ジェンダー平等のすすむ現代において、法律が憲法や国際法上の法の下に平等に違反することを訴え、差別なき社会を実現したいと考えています。



難民帰化訴訟 ～真に社会の一員へ～

外国にルーツを持つ人々

難民認定されたアフリカ出身の原告。日本国籍をもたない「難民」のままの日本での生活は、彼の日常生活や将来のキャリアに重大な障害となってきました。そのため行った2度の帰化申請は、いずれも認められず。難民条約34条は、難民の帰化をできるだけ容易にするように求めています。しかし日本では、国の極めて広い裁量で帰化の認否が決まり、これは条約の趣旨に反しています。この訴訟は原告に帰化を認めるよう求めています。

2023年度には、CALL4 掲載の 11 件のケースで 14 件の判決が言い渡されました。

2023.06

& 2023.10

勝訴!

優生保護法に奪われた人生を取り戻す裁判 控訴審判決

「優生保護法に奪われた人生を取り戻す裁判」では、2つの仙台高裁の判決が言い渡され、一方では請求が棄却され（2023年6月1日）、他方では消滅時効の主張を権利濫用として原告の請求が認容されました（2023年10月25日）。年度を跨ぎますが最終的に2024年7月3日の画期的な最高裁大法廷判決へと結実しています。

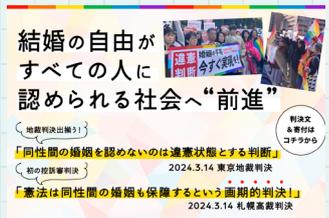
2023.06

& 2024.03

勝訴!

結婚の自由をすべての人に訴訟（同性婚訴訟） 一審／控訴審判決

昨年度から続々と判決が言い渡されていた「結婚の自由をすべての人に訴訟」では、新たに福岡地裁判決（2023年6月8日）と東京二次訴訟地裁判決（2024年3月14日）、札幌高裁判決（同日）が、同性婚を認めない現行法制度について、それぞれ違憲状態または違憲と判示しました。



2023.10

「セックスワークにも給付金を」訴訟 控訴審判決

昨年度に一審敗訴判決を受け控訴していた「セックスワークにも給付金を」訴訟は、残念ながら東京高裁で原告敗訴が維持されています（2023年10月5日）。原告は上告しています。

2023.11

日米同性カップル在留資格訴訟 ～家族そろって日本で暮らすために～ 控訴審判決

異性カップルであれば認められる「定住者」の在留資格が、同性カップルには認められない。このおかしな制度の改善を求める「日米同性カップル在留資格訴訟」では、2023年11月2日に東京高裁判決が言い渡されました。残念ながら一審同様、原告の請求は棄却されました。現在、事件は上告審に係属しています。

2023.11

『宮本から君へ』助成金不交付決定取消訴訟 最高裁判決

勝訴!

日本の表現の自由にとって画期的な判決となったのが、『宮本から君へ』助成金不交付決定取消訴訟です（2023年11月17日）。最高裁は、芸術家の自主性や創造性を重視し、給付行政に一定の歯止めをかける重大な判例法理を打ち出しました。



2023.12

大川原化工機事件～無実で約1年勾留「人質司法」問題をただす～ 一審判決

勝訴!

大川原化工機事件は、中世とも絶望的とも呼ばれる日本の刑事司法制度の深刻な被害を受けた原告らが、検察官や警察官の捜査活動の違法性を追及する訴訟です。2023年12月27日に東京地裁で、検察官の勾留請求や公訴提起自体の違法性を認める、画期的な判決が言い渡されました。



2024.01 ● ジャーナリストに渡航の自由を！訴訟 一審判決

勝訴！

2024年の前半は勝訴判決が相次ぎました。パスポートの発給を拒否された安田純平さんが、処分の取り消しと国家賠償を求めた「ジャーナリストに渡航の自由を！訴訟」では、全面的な渡航制約を違法とし、発給拒否処分を取り消す勝訴判決が東京地裁で言い渡されました（2024年1月25日）。



2024.03 ● 「同性パートナーにも犯罪被害の遺族給付金を」訴訟 最高裁判決

勝訴！

3月26日には、「同性パートナーにも犯罪被害の遺族給付金を」訴訟について、最高裁判決が言い渡されました（2024年3月26日）。同性パートナーであっても「婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった者」に当たる場合があるとして、原告を敗訴させていた控訴審判決を破棄するものでした。



2024.04 ● クルド難民収容者暴行被害国賠訴訟 控訴審判決

勝訴！

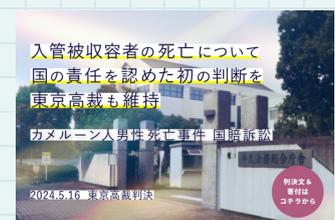
4月と5月には、外国人の方に対する入管の違法行為を認める高裁判決が相次ぎました。「クルド人難民収容者暴行被害国賠訴訟」では、入管の責任を認めた一審判決が東京高裁でも維持されました（2024年4月11日）。原告の控訴は棄却されていますが、裁判所からは、不当行為を行った警備官に違法行為を行った自覚がないことや、責任者も違法と評価していないことなどからすると、十分な再発防止策が講じられたかにつき疑問があると指摘されています。現在上告により最高裁に係属中です。



2024.05 ● カメルーン人男性死亡事件国賠訴訟 控訴審判決

勝訴！

5月には「カメルーン人男性死亡事件国賠訴訟」の控訴審判決が東京高裁で言い渡されました（2024年5月16日）。救急搬送をする義務違反が入管にあったことを認めた一審の判断が維持されました。もっとも、死亡との直接の因果関係は引き続き認めず、「死亡したときに生存していた相当程度の可能性」が侵害されたことによる慰謝料として150万円の認容に留まりました。この事件も現在上告により最高裁に係属しています。



2024.05 ● 「人種差別を許さない」訴訟 ～警察官による母子の不当聴取と個人情報の漏洩～ 一審判決

残念な判決となったのが「人種差別を許さない」訴訟です。警察官によって外国人差別などが窺われる対応をされた上、ヘイトスピーチを繰り返す自称被害者に対し不当に個人情報を流出させられた事案ですが、東京地裁は警察官が臨場直後に外国人に差別的な言動をすることは不自然であるとか、個人情報の流出には本人の同意があったなどとして、原告の請求を全て棄却しました（2024年5月21日）。原告は控訴しており、高裁判決による是正が望まれます。

来年度以降も注目の判決が相次ぐ予定です。

CALL4サイトやSNS、メルマガなどでご案内いたします。どうぞご注目のうえ、ご支援いただければ幸いです。

今年度は、2件のストーリー記事と1件の動画、
14件のコラム記事を公開しました

STORY

2023.9.5

**私たちのことを私たち自身が
議論できる社会をつくるために**

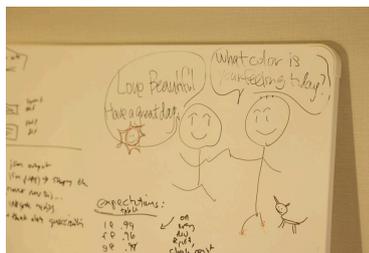
立候補年齢の引き下げを求めて提訴した
若者たちと弁護団のストーリー



2023.10.31

**日本で家族そろって暮らす自由を、
平等な制度を求めて**

日米同性カップルの
在留資格をめぐるストーリー



MOVIE

2024.5.8

未来をつくる公共訴訟

Building Tomorrow: Public Interest Litigation in Action



COLUMN

インターン募集&レポート

CALL4 夏期インターン生募集！
公共訴訟に触れてみよう

CALL4 春期インターン生募集！
公共訴訟に触れてみよう -2024.Spring-



提訴会見レポート

提訴会見レポート「人種差別的な職務質問をやめさせよう！訴訟」
2024年1月29日 @ 司法記者クラブ

提訴会見レポート「夫婦別姓も選べる社会へ！訴訟」
2024年3月8日 @ 日比谷図書館ほか



マンガで公共訴訟 シリーズ

ケアする時間はなかった マンガで公共訴訟 (9) そんな未来にいたい マンガで公共訴訟 (10) わたしの家族 マンガで公共訴訟 (11)



わたしと公共訴訟

裁判をサポートできることは、発見であり、喜びでした
中島京子さん（作家）

おかしいことはおかしいといい続ける。個人的な物語が、制度を動かす
高田昌幸さん（ジャーナリスト）

目的を叶える手段として訴訟を提起する若い世代に刺激を受けています
山内マリコさん（作家）



インターン生企画

公共訴訟とはどんな訴訟？ —法曹育成に携わる実務家の視点から—
[interview] 酒井 圭（弁護士）



お知らせ・キャンペーン

CALL4 リリース4周年記念イベント、全国3都市開催！
4th Anniversary CARAVAN

マンスリーサポーター募集 [めざせ170人] キャンペーンを実施中！
ネクストゴールに向けて、12月31日まで実施！

2023年もCALL4を応援くださりありがとうございました！
年末のご挨拶とアニュアルレポートのお知らせ



2023年度収支報告

科目	金額 (単位:円)		
経常収益	受取会費	正会員受取会費	108,000
	受取寄付金	受取寄付金	31,004,104
	受取助成金等	受取助成金	4,506,400
	事業収益	自主事業収益	16,670,800 ④
	その他収益	受取利息	1,262
		雑収益	500,001
経常収益合計			52,790,567 ①
経常費用	事業費	人件費	983,290
		業務委託費	18,545,625 ⑤
		諸謝金	446,800
		印刷製本費	310,825
		会議費	319,995
		旅費交通費	305,650
		通信運搬費	90,999
		消耗品費	627,485
		イベント関係費	2,944,517
		地代家賃	588,520
		賃借料	168,492
		租税 公課	248,900
		広告宣伝費	47,051
		接待交際費	94,250
		減価償却費	1,220,163 ⑧
		支払手数料	852,117
		その他経費計	26,811,389
	事業費合計		27,794,679
	管理費	人件費	245,822 ⑥
		業務委託費	2,185,188 ⑦
		印刷製本費	34,536
		会議費	35,554
		旅費交通費	42,094
		通信運搬費	128,199
		消耗品費	268,921
		地代家賃	65,391
		減価償却費	135,573
		租税公課	6,453
		支払手数料	120,815
		その他経費計	3,022,724
			3,268,546
経常費用合計	管理費合計		31,063,225 ②
当期経常増減額			21,727,342
経常外収益合計			0
経常外費用合計			0
税引前当期正味財産増減額			21,727,342
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			21,657,342
前期繰越正味財産額			34,747,322
次期繰越正味財産額			56,404,664 ③

当法人の本年の会計年度は2023年6月1日から2024年5月31日です。活動計算書上、今年度はおよそ5280万円の収入を得て(①)、3100万円を支出し(②)、前期繰越分と合わせ、税引き後で5640万円ほどを翌年度に繰り越しました(③)。

収入は大きく事業収益と寄付収益に分かれます。事業収益は株式会社TKCと株式会社現代人文社との共同事業に関して得たものです(④)。今年度は4月にファンドレイズパーティを開催し、多くのご寄付をいただきました。

支出のメインは業務委託費です。事業費におけるものとしてウェブシステムの保守・運営費用、各種デザインの費用、法人運営に関する専門家の費用などを(⑤)、管理費として法人運営に関する常勤スタッフに対する給与(⑥)、非常勤スタッフに対する委託費などを計上しています(⑦)。事業費に含まれる減価償却費は、譲り受けたシステムに関して計上したものです(⑧)。

※CALL4の決算報告書は、毎年、CALL4ウェブサイト運営組織のページに掲載しております。

この活動計算書は会計帳簿の金額と一致し、認定特定非営利活動法人CALL4の収支を正しく示していることを認めます。

監事 石川 えり
監事 土井 香苗

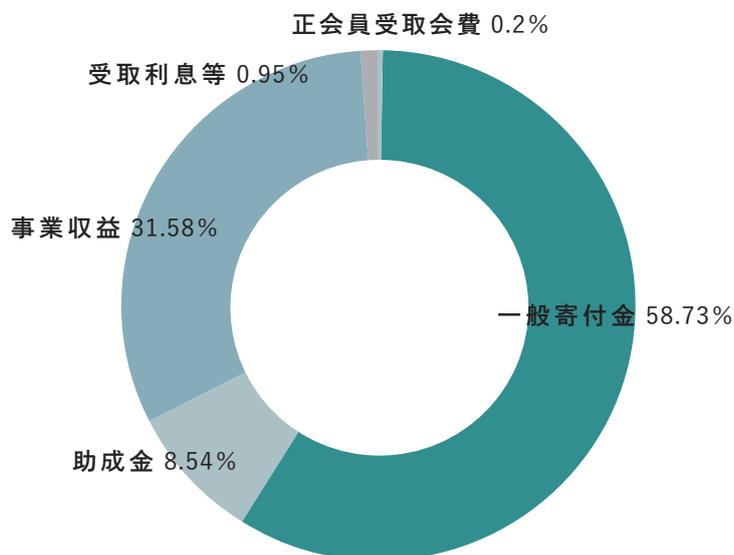
収入内訳

正会員受取会費	108,000	0.2%
一般寄付金	31,004,104	58.73%
助成金	4,506,400	8.54%
事業収益	16,670,800	31.58%
受取利息等	501,263	0.95%
合計	52,790,567	100%

※一般寄付金のうち、4,274,900 円が定期的なご寄付です。2021年8月24日からマンスリーサポーターを募集し始め、2023年度は211名のマンスリーサポーターの方々のご支援くださいました。誠にありがとうございました。

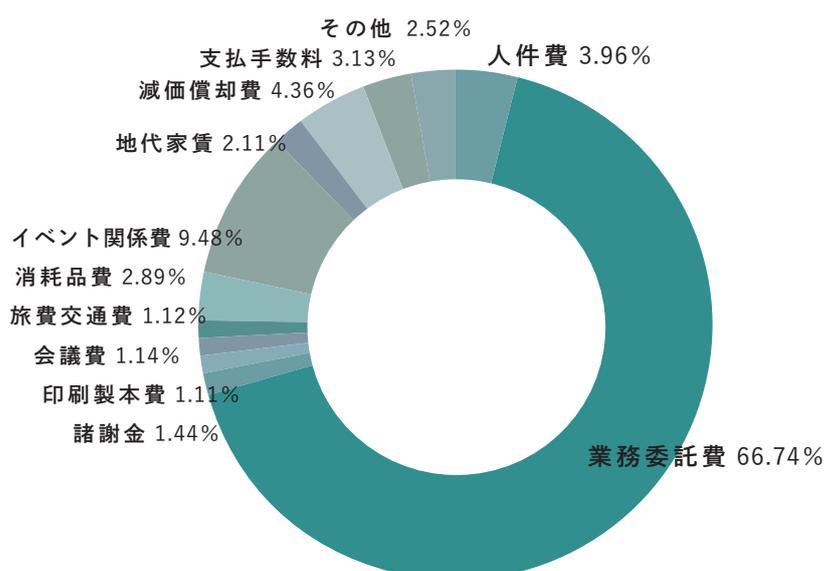
< 事業収益について >

公益的訴訟・社会的訴訟に関する普及啓発事業として、公益的訴訟・社会的訴訟に関して収集した情報を、株式会社 TKC 様、株式会社現代人文社様に提供しております。具体的には、株式会社 TKC 様の運営されている TKC ローライブラリー (<https://www.tkc.jp/law/lawlibrary/>) へ判決資料の提供を行い、株式会社現代人文社様の運営されている刑事弁護 OASIS (<https://www.keiben-oasis.com/>) には CALL4 作成のストーリー記事をご提供しています。



支出内訳

人件費	1,229,112	3.96%
業務委託費	20,730,813	66.74%
諸謝金	446,800	1.44%
印刷製本費	345,361	1.11%
会議費	355,549	1.14%
旅費交通費	347,744	1.12%
通信運搬費	219,198	0.71%
消耗品費	896,406	2.89%
イベント関係費	2,944,517	9.48%
地代家賃	653,911	2.11%
賃借料	168,492	0.54%
租税 公課	255,353	0.82%
広告宣伝費	47,051	0.15%
接待交際費	94,250	0.30%
減価償却費	1,355,736	4.36%
支払手数料	972,932	3.13%
合計	31,063,225	100%



マンスリーサポーターの声

石塚章夫さん

元裁判官



私は、裁判官の時代に、今でいう「公共訴訟」に分類される事件を何件か担当しました。傍聴人も多く、判決も大きく報道されました。このような事件は、被告が大企業や国である場合が多いため、審理に臨む裁判官の良心のあり方が特に問われます。CALL4のような活動の存在は、裁判官の良心に強く訴える力になると思います。今後とも支援を続けて行きます。

藤澤理恵さん

東京都立大学助教



CALL4の活動を知り、法律があるだけでは十分でなく、それが人権を尊び社会をより良く変えるために使われること、そのプロセスを学び合い、より良い未来を手作りしていくことの重要性を理解しました。専門家の皆さんが、社会の矛盾や理不尽を正す側に立って下さることに感謝します。CALL4のプラットフォームでは、一般市民の私も同じ側に立つことができます。マンスリーサポーターとして長く関わらせていただく方法があることに感謝しています。

スタッフの声

鈴木博子

Hiroko Suzuki

ケースサポーター
Podcast チーム



2023年9月のイベントに参加したことがきっかけで、CALL4に携わることとなりました。本チームでは、クラファン立ち上げや公開後の支援をしています。社会の理不尽に対して、当事者としても、サポートさせていただく側としても立ち向かうことのできる活動です。実際、私も普段は研究活動をしており、社会に還元することにも繋がっています。今後もぜひお声を聞かせていただき、一緒に訴訟を通じて形にしていきたいでしょう。

志和あかね

Akane Shiwa

広報



2019年からCALL4に携わっています。それまでは、法曹界に縁もゆかりもなく、裁判はどこかニュースで見聞きする、自分とは関係ないものと思っていました。一方で海外生活の経験から、日本で理不尽と感じる機会は多々ありました。CALL4の活動を通じて司法という手段でそんな理不尽な状況を変えていけるということを知りました。あげられた声たちが、より多くの人たちに正しく伝わるよう今後も活動していきたいです。

東理美結

Myu Kanri

Podcast チーム
ケースサポーター



2023年末から参加し、多様な背景とスキルを持つメンバーに刺激を受けながら自分なりにできることを探しています。Podcast チームでは、声を上げた人たちの想いや人となり、それをサポートするコミュニティの温かさや熱意を感じて、ニュースやSNSの投稿を見るたびにふと思いついて、仲間になっていただけるような、そんな番組作りを目指しています。外部イベントへの出展やコラボ企画など、新たな取り組みにも挑戦していきたいです。

二見元気

Genki Futami

イベントオーガナイザー



訴訟や裁判所が必ずしも身近でない人でも一歩踏み出して参加してもらえるイベントを、とみんなで作えながら開催しています。CALL4のイベントが、参加者の関心と原告や弁護団の想いとが共鳴しあう場になりますように。そして、公共訴訟を通じて社会が少しでもよい方向に進んでいく、その過程に一人でも多くの方に加わってもらえますように。「こんなイベントあったらいいな」という声をぜひお寄せください。



CALL4の活動を 寄付で支える

CALL4の運営はプロボノメンバーを中心に行っています。
しかし、ケースの立ち上げ支援やコンテンツの作成、
ウェブサイトの運営、イベント開催などには
費用がかかります。より多くの方に社会課題と訴訟の
ポイントについて知っていただくためには、
一定の費用をかけてこうした活動を継続することが必要です。
私たちの活動にご寄付いただけますと幸いです。

<マンスリーサポーターとして支える>

クレジット払い



<単発の寄付で支える>

クレジット払い



銀行振込

PayPay 銀行

店番号：005（ビジネス営業部）

種目：普通

口座番号：5418802

名義：認定特定非営利活動法人 CALL4（ニンテイトクヒ）コールフォー

三菱 UFJ 銀行

店番号：052（神楽坂支店）

種目：普通

口座番号：0938750

名義：認定特定非営利活動法人 CALL4（ニンテイトクヒ）コールフォー

ゆうちょ銀行

店名：〇一九支店

種目：当座

口座番号：0421781

口座名称：認定特定非営利活動法人 CALL4（ニンテイトクヒ）コールフォー

あなたのサポートがCALL4のチカラになります

CALL4に掲載されたストーリーや訴訟のことを
家族や友人や周りの人に伝えてください。

SNSで話題にしてください。

寄付や原告や弁護団が必要なサポートをしてください。

そして、ぜひ訴訟の傍聴にも行ってください。

きっと受け取るものがあるはずです。

また、掲載されている訴訟資料を読んで
周りの人と議論もしてみてください。

専門用語もありますが、

そこには知らなかった事実や情報が
含まれていると思います。

CALL4の活動は、

皆様の「共感」によって初めて成立します。

ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



Apple podcast



Spotify



メルマガ登録



info@call4.jp

何かご不明な点等ございましたら、
いつでもお問合せください

CALL4